

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和 4 年度		
施設名	大館能代空港周辺ふれあい緑地	設置年	平成 11 年
所在地	北秋田市脇神字奥小々田116-1		
指定管理者	株式会社 友愛ビルサービス		
県所管課	港湾空港	課	調整・クルーズ・空港 チーム

1 施設の概要

設置目的	大館能代空港周辺の緑地の利用増進を図り、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与するため。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの					
施設の面積	125,000㎡					
主な設置施設	センターハウス、ステージ棟、芝生帯、展望広場、スポーツゾーン（テニスコート、バスケットコート等）、クロスカントリースキーコース					
指定管理業務の内容	料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 利用料金併用制 ・ 完全利用料金制 無（指定管理料制）				
	料金設定	テニスコート1面1時間220円、研修室1時間370円、会議室1時間370円、温水シャワー1回100円				
	サウンディング実施対象施設※	×	←○、×を記入			
	指定期間	R3. 4. 1	～	R8. 3. 31		
	営業期間・時間	1月4日～12月28日（毎週水曜日を除く） 9：00～19：00				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用の許可、取消等の業務 ・ 維持管理、運営に関する業務 ・ 利用促進に関する業務 				
自主事業の内容	①利用者要望に応じた時間外開園業務 ②学童のクロカンスキー利用を考慮し、冬期間の休園日変更					
直近3年の年間利用者数	R 2	14,690 人	R 3	19,529 人	R 4	36,424 人
直近3年の年間料金収入	R 2	207 千円	R 3	256 千円	R 4	638 千円
直近5年の収支決算（単位：千円）	H 3 0		R 元	R 2	R 3	R 4
収入計	14,170		14,033	14,099	14,719	14,995
利用料収入	329		294	207	257	387
指定管理料	13,536		13,536	13,787	14,357	14,357
その他収入	305		203	105	105	251
支出計	12,941		12,232	12,530	14,799	14,598
人件費	5,261		5,521	6,060	6,209	5,876
人件費以外	7,680		6,711	6,470	8,590	8,722
差 引	1,229		1,801	1,569	▲ 80	397

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング（官民対話）を実施する。

2 観点ごとの評価

(観点 I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載
(R 6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 20,000人
----------	--------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	48,000	37,500	30,000
	実績	29,886	14,690	19,529
	達成率	62.3%	39.2%	65.1%
令和4年度の実績	実績	36,424	達成率	182.1%
	具体的な取組とその効果	大規模なコンサートの受け入れにより、目標利用者数を大幅に超える実績となった。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	21,000		
	設定根拠	前年の実績値を参考に設定(大規模コンサート人数は除く)		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

(観点 I) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	テニスコートの整備や大規模なコンサートの受け入れにより、目標を超える利用者数となった。雪不足の為、受け入れを予定していたスキー大会は中止となり、スキー人口減の影響もあり冬場の利用者数に関しては低迷している。
県(所管課)	A	大規模コンサートの受入により大幅に目標を超えたが、コンサートによる来場者を抜いても十分に目標を達成できていると考えられる。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

(観点Ⅱ) 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度	R2年度	R3年度	
	84.0%	82.0%	—	
令和4年度の実績	実績	—		
	具体的な取組とその効果	コロナ禍により未実施		

(観点Ⅱ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	B
	県(所管課)	B	コロナ禍における対策の一環として、利用者へのアンケート調査は未実施。今後は可能な範囲で調査を行いながら、SNS等のツールも引き続き活用していただきたい。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

(観点Ⅲ) 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	全体的な経費としては前年対比で3%程度減少したが、水光熱費の部分に関しては利用者数に比例して+902千円の増となる。
	具体的な取組とその効果	経費節減は日頃から取組んでいる事項であり目立った成果とならない。修繕については指定管理者の範囲を超えた内容が多く自社対応では困難である。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	利用料金収入が前年比で1%増加した。
	具体的な取組とその効果	・各催し物の受け入れ及び時間外開園等の対応により収入が増となった。

(観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	経費減については、従業員の欠員の継続によるもの。(令和4年10月～現在に至る) また、スキー大会が中止になったことにより除雪・排雪が必要なくなり経費の減となった。
	県(所管課)	B	光熱費等の高騰の中で、日々のコストダウンに努めていただいている。冬期は天候に左右されるが、県民が安全に利用できるよう、引き続き維持管理をお願いしたい。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A : (1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B : A、C以外

C : (1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○継続的な人員不足の発生 令和4年10月より欠員が継続。スタッフ募集広告(ハローワークの他、ネット求人及び新聞広告14万程度)経費をかけているが未だに応募者がいない状態。現スタッフで終日勤務対応中。 ○商工会議所主催のマナー講習・清掃作業従事者研修・冬季車両安全教室 定期的に講習受講を行っている。 ○地域や関係団体等との連携 適時、運用会議を実施。催し物当日に安全で快適な施設の提供が出来るよう取り組んでいる。 ○危機管理等 クマ出没対応マニュアル・緊急時連絡体制を整備している。 ○時間外開園の対応 施設利用者から開園時間外の利用の申し出があった場合は、弊社の裁量で開園の対応をしている。
----------	--

(観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県(所管課)	A	適切な管理運営を行っており、円滑に指定管理業務を遂行している。

【評価基準】 A : 順調(改善点なし)、B : 概ね順調(重大な問題点なし)、C : 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) ・地元学校の部活動での利用や各種イベントによる利用に加え、大規模コンサートの受入等によって、県内外からの集客に寄与している。
○施設運営の課題 ・施設の老朽化
○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) ・コロナ禍が明けたことから、各種催し等による利用や、普段の個人利用も増加していくと考えられる。引き続き県民が安心して使用できる施設として、計画的な修繕を行いながら、維持管理に努めていく。

【外部有識者委員会による評価（提言）】

※外部有識者委員会の評価対象となる約20施設について記載

評価（提言）
○施設の管理運営状況について (（観点I）～（観点IV）に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価（提言）を踏まえた今後の対応方針】

今後の対応方針
指定管理者 (施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課 (県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)